

貴志川線ニュース

和歌山電鉄23年度決算

運輸実績はほぼ前年並み

輸送人員微増217万1千人

数字で見る決算

開業5年目を迎えた和歌山電鉄は22年度決算を発表しました。これによると運輸収入は前年度比0.9%減の3億2825万円、輸送人員は前年度比0.1%増の217万1千人となり、**収入では微減、輸送人員ではほぼ前年並み**という結果となりました。

運輸収入以外の収益については、グッズ販売が好調を維持したほか、「たまカフェ事業」も堅調に推移しました。

一方経費については、設備の老朽化対策による大型の設備投資が続いたことにより、原価償却費など経費が増加しています。

この結果、**経常損益は7813万円の赤字**となりましたが、単年度の損失としては、開業2年目の19年以降4年連続で和歌山市と紀の川市による運営補助金(上限8,200万円)範囲内に抑えることができました。和歌山電鉄では、今後も精一杯の経営努力によって赤字を最小限度に抑え、地方鉄道再生の灯を灯し続け、公共交通の意義・重要性を広く訴え続けていきたいとしています。

運輸収入 3億2825万円

(前年比0.9%、292万円減)

輸送人員 217万1000人

(前年比100.1%、1000人増)

経常損益 7813万円の赤字

赤字は4年続けて 補助の範囲内に

わかやまNPOセンターから 71550円寄贈受ける

貴志川線祭りの開会式でわかやまNPOセンター様から「たま弁当」の2年間の販売利益71550円を貴志川線活性化の活動に使ってほしいと、貴志川線の未来をつくる会に寄贈して頂きました。ありがとうございます。

今年は大豊作でした 6月5日420人参加



第4回じゃがいも掘り

復興支援 第5回貴志川線祭りに4千人 義援金60万2839円日赤に寄託



「第5回貴志川線祭り」は東日本大震災復興支援イベントとして5月8日、伊太祁曽神社と伊太祈曽駅を会場に開かれ家族連れら4千人が来場し賑わいました。義援金は会場内の募金や出店者からの拠出などで60万余の協力を頂き、5月30日日赤県支部に寄託しました。

23年度会費(継続・新規)の納入をお願いします